

辺野古土砂北九州

発行…2021年5月号・No.18



4月21日、土砂全協をはじめ4団体合同の政府交渉を行いました。写真は沖縄で戦死した祖父の写真を抱いて訴える遺族の方。政府交渉の内容は、同封の「土砂全協・つながる力」をお読みください。会報には遺族の方のお話を掲載しています。

《目次》

緊急のお知らせ「土砂全協総会すべてリモートで」……………	2ページ
四団体で政府交渉「遺族の訴えに、私も心が痛みますと職員」……………	3ページ
【日本の基地】福岡空港の14%が米軍基地(神谷貴行)……………	5ページ
【エッセイ】「あくまき」と母の思い出(浦島悦子)……………	8ページ
【Q&A】オスプレイは今日本に何機?(アンサー/前海満広)……………	9ページ
西山太吉さんを囲んで「日本にとっての沖縄返還とは」……………	10ページ

写真提供…神谷貴行・首都圏グループ・伊藤和人・八記久美子・他



発行 「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会

《緊急のお知らせ》

5月30日の土砂全協総会は 全てリモート(zoom)で行います

5月30日(日)13時から、北九州市小倉北区の「ムーブ」小セミナールームで開催予定の、土砂全協第8回総会は、福岡県緊急事態宣言で、会場が閉館されたため、すべてリモート(zoom)で、行う事になりました。

参加希望の方は、5月28日(金)までに、下記アドレスまで申し込みをして下さい。

《総会参加申し込み》

kanpanerura888k@gmail.com

※当日の申し込みは、多分対応できないと思いますので、必ず事前に申し込みをお願いします。

《総会開催日》

2021年5月30日(日)13時～16時(予定)

《プログラム》

プログラムの1部では、遺骨収集ボランティア具志堅隆松さんの講演(30分)・土砂全協顧問の北上田毅さんの報告(10分)・土砂積み出しの現場や、ゲート前でたたかっている沖縄の仲間からの報告もあります。

2部は議案に沿った総会を行います。



《戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会》
《平和をつくり出す宗教者ネット》
《「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会》
《辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会》



初の試み…4 団体で政府交渉

戦争で殺された遺骨を、敵だった米軍の基地を造るのに使うとは
遺族の訴えに、「私も心が痛みます」と厚労省職員

4月21日、上記4団体合同での政府交渉・院内集会が開催されました。コロナ禍の為、北九州からはzoom参加しかできませんでしたが、当日は、衆議院院内大会議室150名、WEB参加130名、国会議員＋秘書20名の計300名の参加がありました。

また沖縄から、元土木技師の北上田毅さん(土砂全協顧問)と、遺骨収集ランティアの具志堅隆松さんが駆け付け、学習や政府交渉を行いました。

この日の内容は、この会報に同封した、「つながる力・No.19」に報告が載っていますので、ぜひお読みください。

また、みなさんから寄せられた「ストップ辺野古」の署名1万8580筆を、この日提出。前回分と合わせて、62万8719筆の提出となりました。署名にご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

なお、次ページには、当日訴えをされた遺族の米本さんや、具志堅さんの発言も掲載しています。

右…署名を提出する、土砂全協の阿部共同代表。この署名集約は「辺野古土砂北九州」が行いました。
下…衆議院第1議員会館・B1大会議室での様子。国会議員のみなさんも、駆け付けてくれました。



ご遺族・米本さんの訴え

私は、旧日本帝国陸軍第32軍24師団の岡田大尉の孫です。今回の防衛局の計画を知り、いても立ってもおられず、沖縄に行って碎石場を確認してきました。これは人間の行為ではありません。そう思うと、血が逆流してしまって、気持ちを落ち着かせるために摩文仁から那覇まで5時間かけて歩きました。それでも身体の震えが止まりませんでした。

祖父は、まだ、沖縄の大地から戻っていないのです。私の祖父は、まだ沖縄にいます。祖父は、死んでこいと言われて沖縄に派遣され、ちゃんと死んだのです。それなのに、戦争で殺され、碎石業者に殺され、そして辺野古の海に放り込まれようとしているのです。何故、3回も殺されなければならないのですか。

今回の問題については、自衛官の皆さんも、そのご家族の方々も注目されていると思います。防衛省はその点も考えなければなりません。

ただ、私は軍人の孫という立場ですから、実は、つらいのです。当時、日本軍は沖縄の住民を守らなかったと言われていたからです。それでも、沖縄の皆さんに苦渋を押し付けたにもかかわらず、沖縄の人たちの愛と抱擁に守られて、祖父はまだ沖縄の大地に眠っているのです。

今日の防衛省・厚労省の方々の答弁はとても納得できません。何故、同じ答弁しかできないのですか。

米本さんの訴えの後の具志堅隆松さんの発言

防衛省の皆さん、日本軍は防衛省の前身ですよ。沖縄戦で犠牲になった日本兵は皆さん方の先輩であり戦友ですよ。戦友の遺骨を、戦友を殺した敵軍の米軍の基地を造ってやるために、埋立に使うというのは、戦友への裏切りではないですか。遺族と国民への裏切りです。

私は、皆さんのことを人間の心を失っていると言いましたが、日本人の心も失っています。皆さん方は明らかに、遺族への説明責任があります。本当は戦没者への謝罪がいります。皆さんが今回のような計画をした時点で、戦没者を裏切ったのです。

どうか、南部地区からの土砂調達計画は断念してください。撤回してください（拍）。遺族の方への説明責任を果たしてください。知っていながら、そこから土砂を採ろうとしたことは、御遺族に、国民に説明する責任があります。

厚労省は、遺骨をご家族のもとに返すのが、皆さんの仕事の一丁目一番地です。それを、防衛省がやっていることは知らないという言い方で逃れようとしている。今からでもしっかりと本来の業務を遂行する立場に戻ってください。今日、私が東京に来たのは、南部からの土砂採取計画を断念してくださいということだけのために来たのです。

【シリーズ】日本の基地・第 17 回…福岡空港(福岡県)

福岡空港の 14%が「米軍基地」

移設も汚染回復も市・県・国が負担…国は「空港整備」の一環と

日本共産党福岡市議団事務局 神谷貴行

■米軍機が 6 日に1機の割合で飛来

福岡空港には米軍基地があります。米軍だけが使う「専用区域」が 2 处あり、倉庫・駐機場として使われています。民間空港でこうしたエリアがあるところは全国でここだけです。

同時に、民間航空機が使う滑走路などは米軍も使える「共用区域」として使用され、米軍機が今も 6 日に 1 機の割合で飛来しており(全国の民間空港で最多)、空港全体のなんと 14%(約 48 处)が「米軍基地」として使われています。

■ミサイルから身を守る訓練、小学生が

かつて周辺の地名をとって「板付基地」と言われ、朝鮮戦争やベトナム戦争の最前線基地として、ここから米軍機が飛び立ちました。しかしそれは昔話ではありません。昨今朝鮮半島をめぐり戦争の緊張が走り、福岡市の小学生は「北朝鮮のミサイル落下から身を守る訓練」をさせられましたが、米国防総省幹部は福岡空港について、「朝鮮半島に近く、今後も基地能力を確保する」として、「有事には作戦拠点として機能を拡大したい」とコメント(西日本 2018 年 5 月 14 日付)。「滑走路や駐機場なども軍事作戦に使う構想がある」(同記事)といいます。

まさに日本とは関係のない「米軍の戦争」を戦い、福岡市民が戦争に巻き込まれる「現役の軍事拠点」なのです。

■市内米軍基地 95%返還「板付返還協」

そんな危険な基地は一刻も早く撤去してほしいと思うのが市民の当然の願いで

す。

福岡市では市議会の全会派、市長・県知事、九大、商工会議所、自治協議会(町内会などの地域団体の連合体)、市 PTA 協議会、JA、連合などのそうそうたる顔ぶれの代表者が、立場の違いを超えて、「基地返還」と「空港の軍事利用反対」を求める「板付基地返還促進協議会」を 66 年前につくり、現在にいたるまで毎年活動を行なっています。会長は自民党の市議会議長です。

その結果、これまでに市内にある米軍基地の 95%が返還され、その跡地は広大な公園・スポーツ施設・水族館などになって現在市民に親しまれています(下・写真)。最近でも 2016 年に脊振山の通信施設の返還が実現しました。

立場の違いを超えた粘り強い運動こそが、時間はかかっても政治を動かすのだと実感します。



マリンワールド海の中道。かつて「雁ノ巣基地」として米軍基地の一つだった

■米軍基地内部移設費…市・県・国が負担

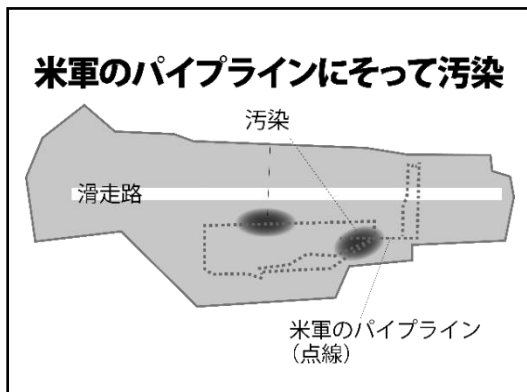
ところが今とんでもない問題が持ち上がっています。

福岡空港の滑走路増設工事が始まり、それにもとない米軍基地が空港の内部で移設されますが、その費用負担を福岡市もさせられていることが判明したのです(福岡県も)。

移設事業費 9 億 7000 万円、そのうち福岡市は 1 億 3000 万円を負担しました。福岡市は基地返還を米軍に要求しているのに、なぜその自治体が、移設という名の米軍基地の「更新」にお金を払わねばならないのでしょうか。

■土壌汚染回復費用…市・県・国が負担

そしてさらにひどいことに、滑走路増設工事にあたって土壌汚染が発覚し、その汚染は、実はそこにいた米軍のパイプライン跡に沿って広がっていることがわかったのです(この部分の土地は 1972 年に国に返還済み)。つまり米軍による汚染なのです。



回復のための費用負担は汚染者が行うというのが国際ルールです(汚染者負担原則)。日本の土壌汚染対策法にも定められています。ところが、米軍は 1 円も払っていません。調査費・除去対策費はあわせて 4 億 1000 万円ですが、そのうち 5500 万円を福岡市が負担します(残りは国と県)。

米軍は環境を破壊しても“原状回復しなくてもよい”と日米地位協定(第 4 条)に定められています。これ自体あまりに異常ですが、百歩譲ってそんな協定を結んだのは国のはずで、自治体はなんの関



神谷貴行さん

係もありません。むしろ協定改定や基地返還を迫っているのが福岡市をはじめとする自治体なのであり、負担を押し付けられるいわれは毫もありません。

■国の理屈「たまたまなんです」

国は“移設事業も土壌汚染対策事業も「空港整備」の一環だから、空港法に基づいて地元自治体が費用を一部負担するのは当たり前だ”という理屈を述べています。

土壌汚染対策事業については先述の通り地位協定 4 条、移設事業は地位協定 24 条によって、米軍は費用負担を免責されます(松竹伸幸『日米地位協定の真実』参照)。

しかし、この問題で国は日米地位協定について不自然なまでに触れません。

“地位協定は全く関係ない、あくまで空港の整備をしていたら「たまたま」既存の建物があったので移設する、「たまたま」土壌汚染があったので対策をする”という建前を頑なに崩そうとしないのです。

■なぜ「地位協定」に触れないのか

もし「地位協定に基づいて米軍の負担を免じた」ということになれば、国だけがその肩代わりをすべきで、自治体も一

緒に負担するのはおかしいという話になるからです。

しかし、先ほど述べたように、汚染者負担原則があるわけですから、汚染者が米軍である限り、それを肩代わりするのは国であって自治体ではない、という事実は変わりません。

田村貴昭衆院議員(共産党)が国会でこの問題を追及したところ(4月16日衆院環境委員会)、防衛省は、「(調査はしたが汚染の)原因の特定には至っていない」というめっちゃくちゃな答弁をしました。

その場所に米軍のガソリンのパイプラインがあり、出てきている物質もベンゼンや鉛といったガソリン由来のものなのに、米軍が汚したとは「特定」できないというのです。

■立場を超えた粘り強い取り組みこそ

福岡市議会では「(米軍施設の)移設について市が費用を出すのはおかしいし、汚染土の処理まで負担させられるのは実におかしい。屈辱的だ」(共産党)、「市民の税金なのに市民に説明できない」(自民党)と党派の垣根を超えて追及が行われています(2020年10月1日決算特別委員会分科会)。

同市議会では日米地位協定の抜本改正を求める国への意見書も全会一致で採択されています(2018年3月)。

板付基地返還促進協議会の伝統を生かして、立場をこえた粘り強い取り組みこそが、基地を返還させ、平和を守る大きな力となるでしょう。(かみやたかゆき)

近年の民間空港の米軍機発着(国交省)

	福岡	長崎	奄美	名古屋
2017年	94回	48回	37回	47回
2018年	71回	55回	35回	30回
2019年	59回	48回	50回	33回
合計	224回	151回	122回	110回



新しくなった福岡空港。この敷地内に米軍施設があるんで…



「あくまき」と母の思い出

ヘリ基地いらない二見以北十区の会共同代表／フリーライター



今回は、ごく私的な話になることをお許しいただきたい。

先日、鹿児島県に住む友人から、手作りの「あくまき」が届いた。私の出身地は、今や原発で悪名高くなってしまった川内市（現在は市町村合併で薩摩川内市となっている）だが、子どもの頃、毎年この時期（5月の端午の節句）になると母が作ってくれたのを思い出す。

「あくまき」は、灰汁（あく）に一昼夜ほど漬け込んだ餅米を孟宗竹のタケノコの皮で包み蒸したもので、かつて薩摩軍が遠征のときの保存食として作ったのが始まりと聞いた。灰汁の働きであめ色になった柔らかい餅を切り分け、黒砂糖と黄な粉を混ぜたものをまぶして食べるのが定番で、私はこれが昔から大好きだった。友人が送ってくれた「あくまき」を、亡き母を思い出しながら食べた。

実は、私は母とはあまり折り合いが良くなかった。両親とも「長いものには巻かれろ」（その方が楽に生きられる）というのが信条（？）で、「理不尽なことは許せない」性格の私と、ことごとく対立した。一方で、戦争のせいで望んでいた学業を諦め勤労動員されたあげく、戦争が終わるや、帰郷を喜ぶ間もなく満18歳で、親の決めた一回りも年上の相手と結婚させられ（結婚式の時に初めて「実物」と会ったという）、19歳で私を産んだ母は、自分の果たせなかった夢を娘に託そうとしたのか、厳しい姑と、「女に学問はいらん」「女は一步下がって男の後を歩け」と言う夫の男尊女卑に抵抗して、私を「いい」高校、「いい」大学に行

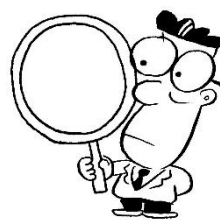
かせようと必死だった。その「教育ママ」ぶりも私には疎ましかったし、「何のために学校に行くのか」と問うと、「いい結婚をするため」と答える母にいつそう反発した。

今思うと、世間を知る機会もなく、親の「家」からそのまま「婚家」へと、「家」に閉じ込められ続けた母の精いっぱい抵抗だったのだろうと、痛みをもって想像できるが、その胸内の思いを聞かないまま、母は私が沖縄に来て間もない頃、60歳を少し過ぎたばかりで亡くなってしまった。

しかし、私がたしかに母にもらったと確信しているものがある。それは戦争に対する強い拒否の思いだ。子どもの頃、「戦争」と聞いて私が思い浮かべるイメージは、焼け跡の中を、荷車に積んだ家財道具を引っ張ってとぼとぼと避難する人々の群れだった。母がどんな言葉で幼い子どもたちに話したのかは記憶にないが、そんな像を結ばせるような話を、繰り返し、したのだろう。少なくとも、「戦争はよくないもの、嫌なもの」だという強い思いを私に植え付けたのは、戦争によって「青春」を奪われた母の「怨念」だったのかもしれない。

沖縄に住むようになって沖縄戦のこと、それに続く基地の歴史や現状を知りながら、戦争を拒否する私の思いはますます強くなったが、その最初の素地を作ってくれたのは亡き母だったのだなあ…と、庭に咲き始めた月桃の花を眺めつつ美味しい「あくまき」を食べながら、改めて思う5月である。

（うらしまえつこ）



オスプレイは 今日本に何機あるの？

現在日本に配備されているオスプレイは、
米軍 29 機+自衛隊 6 機の 35 機です。

米軍

- ・2012 年…MV-22 オスプレイ 12 機が、岩国基地を經由して普天間に配備。
- ・2013 年…MV-22 オスプレイ 12 機が、追加配備。
- ・2018 年…CV-22 オスプレイ 5 機が、横田基地に配備。合計で 29 機に。
○さらに 2024 年頃までに計 10 機が配備予定となっています。

自衛隊

- ・2020 年～現在まで…6 機
○2013 年 12 月、閣議決定でオスプレイ 17 機取得することが明記され、前払いで購入。（一機 200 億円×17 機+α=3,600 億円）
○しかし、配備候補地の佐賀空港は住民の反対で配備のめどが立っておらず、政府は暫定的に、千葉県の本更津駐屯地に配備を計画。2021 年度末までに 17 機を配備する予定で、現時点では 6 機のオスプレイが配備。2025 年からは、本来の配備先としている佐賀空港に移す方針。防衛省は「札束」で地権者買収に動いており、「住民の会」の分断を狙っています。

オスプレイは
2 種類あります

アンサー/平和・人権・環境福岡県フォーラム
前海満広（2021.5.17 記）



オスプレイ MV-22



オスプレイ CV-22

MV-22 は、輸送を主な任務としていますが、CV-22 は戦闘搜索救難と特殊部隊の輸送任務を担う特殊作戦機です。両方とも機体構造は殆ど同じですが、CV-22 に地形追従レーダーが付いています。

昨年 6 月からの「地位協定連続学習」、メは「西山太吉講演会」

沖縄返還とは何だったのか

歴史の生き証人が語る戦後の 1 ページ

西山氏と会えた訳

八記久美子

ことの起こりは、辺野古土砂北九州の「地位協定・連続学習会」の中での、天久講師の「山崎豊子の《運命の人》、一度読んでいいですよ」の一言でした。

私はさっそく図書館に行きました。《運命の人》が 4 巻もあると知った時は、思わず後ずさりしましたが、読み始めるとあっという間。その後西山氏の《記者と国家》を買いました。さっそくページを開くと、何と資料提供者として当会の会員さんの名前が記載されています。連絡すると「今さっきまで西山さんと飲んでいましたよ」の声。そして「ぜひ、一杯飲みながらお話を…」という事になったのですが、コロナは拡大していくばかり。仕方がないので施設をかりて「懇談会」を開いたのですが、終わってみたら貴重な講演会になっていました。参加者の感想をご紹介します。

現実はいくらにも理不尽だった

大野 保徳

1972 年、沖縄返還協定により沖縄の施政権がアメリカから日本に返還された。

その交渉の中でアメリカは、「米軍による日本領土自由使用権（海外へ米軍出動時の事前協議不要）」、「有事時核再持ち込み」、「米軍基地の新設、移転時費用負担は日本」を獲得した。

しかし、このことを政府は国権の最高機関である国会に対して全く説明していない。主権は毀損（きそん）され、血税が湯水のようにアメリカから吸い取られ続けている。これで民主主義国家と言えるだろうか。私が明らかにしたことなど瑣末（さまつ）なことに過ぎない…と西山さん。

当時の政治家は全く政治的責任を取らずに、佐藤総理はノーベル平和賞受賞、福田赳夫外相は総理に、官僚も栄進している。西山さんが受けた仕打ちと比べて、あまりにも理不尽だと私は思う。

会の終了後、仲を取り持ってくれた K さんに「西山さんは、沖縄から小倉へ帰られたのはいつですか？」と尋ねた。「西山さんは、沖縄へ行ってはいません。あれは山崎豊子の創作です。」

沖縄で再生の道を歩まれ、奥さんに手紙を書かれる場面に最も感動した私なんですけど～！我々の活動に確信を与えて下さった西山太吉さん、ありがとうございました。

話に聞き入る参加者たち



沖縄のためにありがとう

天久 泰

弁護士になる前の司法試験受験生時代に、私は、憲法が保障する「報道の自由」に関わる裁判として、外務省秘密漏えい事件(最高裁昭和 53 年 5 月 31 日決定)を学びました。

その裁判では報道機関の取材活動の犯罪性が問われ、「報道機関が公務員に対し秘密を漏示するようにそそのかしたからといって、直ちに当該行為の違法性が推定されるものではない」としつつも、ある新聞記者の行った取材活動は国公法上の犯罪を構成し、有罪と判断されました。米軍基地の被害、負担に苦しむ 70 年代の沖縄の状況を踏まえ、核持ち込み密約の存在を隠し、国民を騙し続けようとした日米の政治家と官僚の実態を曝(あば)くために行った取材活動を犯罪とすべきであったのだろうか、疑問を持ったことを覚えています。

今回、この事件の当事者であり新聞記者であった西山さんのお話を聞き、辺野古基地問題は、永久的な新基地の建設であり、日本が米国に隷従していることの証であると再認識しました。それとともに、外務省秘密漏えい事件は、70 年代当時でも日本が米国の言いなりであり、主権の核心が侵されていること、それを国民の前に明らかにしなければならないという西山さんの使命感をも断罪してしまった、誤った判決だったのだとの思いを持つに至りました。西山さん、沖縄のために闘っていただきありがとうございます。



運動の正しさ確認

松本 秀樹

わたしは、山崎豊子の小説《運命の人》を通じてしか、元記者西山さんを知りませんでした。お年も今年 90 才とのこと。語り始めも静かでした。

それが、当時の首相・佐藤栄作のことや沖縄返還密約の話になると、時に指で机を叩き、年を感じさせない力強さで語られます。

西山さんは、「沖縄辺野古の問題は日本の基本的な問題」日本は日米安保条約によって主権国家では無くなっていく」「1972 年の沖縄返還時の日本の非核 3 原則を米国は黙認」「2006 年の米軍再編によるグアム島への移転費用は日本の負担となっている」「北朝鮮は何も怖くはない、日本は中国と共存する形で考えていく発想で見ていくことが必要」「日本は米国に属国化し自衛隊が米軍と共同訓練を更に押し進めている」と。

西山さんは今の日本、マスコミ・報道を嘆いておられました。私たちの力は小さいけれど、正しい方向を向いて運動していることの確信が確認できました。機会があれば更にお話を聞きたいと思いました。



上…西山太吉さん。左…最後に記念写真を撮。
※「こんな事なら、学習会参加者だけやないで、もっと声をかければよかったね」「もったいなかったね」「でもコロナやけね…」「そうやねえ」などと話しながら、みんな満足げに会場を後にしました。

《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 6月02日(水)…《第10回世話人会》14時～ zoomにて
- 6月09日(水)…《会報発送作業》13時～ 生涯学習総合センター
※コロナの関係で使えなくなる可能性があります
- 6月26日(土)…《小倉駅街頭宣伝》16時～17時

編・集・後・記

パソコンに向かいすぎたのか、眼がチクチク痛みます。涙も出て眼を開けていられないことも。そこでタイマーを40分で鳴るようにして、15分くらいの休憩時間を頻繁に取るようにしました。遠くを見たり、洗濯物を入れたり、おかずを一品作ったり、時にはソファでゴロンとしたり…。

一番の効果は眼より脳に出ました。昨日はこの会報作成で朝からずっとパソコンに向かっていましたが、頭が全然疲れません。眼も大丈夫でした。「疲れないようにする」って、大切なんですね。(y)

※5月30日(日)13時からの「土砂全協の総会」が、リモート(zoom)のみになりました。詳しくは2ページをご覧ください。

《辺野古土砂北九州の口座》

【辺野古土砂北九州の口座は】 ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911

【他金融機関から振り込む場合は】 ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911

加入者名…「辺野古埋立土砂搬出反対北九州連絡協議会」

【お問い合わせ】 大野保徳 090-4482-0043 までお気軽に。

※振込用紙には、会費・カンパなど、内訳をお書きください。

※振込による入金につきましては、特にお申し出のない限り、領収書の発行は省略させていただいています。



「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会

〒803-0816 北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方

八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608

kanpanerura888k@gmail.com